

## 令和3年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第3回）議事要旨

日 時 令和4年7月15日（金）13:00～17:30

場 所 新見市役所本庁舎3階 第4委員会室

出席者

評価委員会 岡崎委員長、中西委員、加藤委員

事務局 岩井課長、宮本参事、羽場主任

### ■要旨

第2回評価委員会における新見公立大学からの説明に基づき、各委員が意見を述べ評価を行った。

次回評価委員会では、今回の審議結果に基づき事務局がとりまとめた公立大学法人新見公立大学令和3年度業務実績に関する評価結果（案）についての内容確認を行うこととなった。

### ■詳細

#### I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

⇒大項目評定は次回判断する

#### 1 教育

##### 1) 教育の内容

⇒評価項目評定を3とする

委員：国家試験合格率が100%となったことは評価できる。今後もこれが維持されて欲しい。

委員：今後、看護学科の訪問看護・地域看護コース、保健師教育課程、養護教諭養成課程の3コースを希望する学生が増加するだろう。そうなった場合に対応できるようにして欲しい。学生の希望に大学が対応できない場合、学生のモチベーション低下につながる。

委員：令和4年度は対面で臨地実習施設連絡会議を開催して欲しい。新見公立大学は専門職の大学のため、こういったものに参加が必要だ。

委員：公務員講座を実施しており評価できる。また、行政書士・社労士の資格取得支援を令和3年度に行っているか確認したい。行っていれば評価できる。

委員：行政書士・社労士に関して、資格取得支援は外部の機関を利用しているか確認したい。

委員：行政書士・社労士に関して、学生の受講料への支援を行っているか確認したい。

委員：大学院再編について評価できる。地域の特性を生かしたコースづくりをして欲しい。

委員：18歳人口が減少する中で、大学をアピールするためには大学院が重要になる。無事設置できるようよろしくお願いいたします。

委員：多くの学生が防災士を受講しており評価できる。

委員：大学が四年制になって即時に「共生社会推進士」という新しいことに取り組んでおり評価できる。

委員：地域福祉学科の特別講義では地元の方を講師に迎え、面白い取り組みや研究ができており評価できる。

- 委員：大学院教育について、再編計画に関する届出が予定通り提出できるようにして欲しい。
- 委員：学生の就職先として公務員が少ない。学生ニーズがあると思うので、公務員になれるような講座の充実する方向がいいのではないか。
- 委員：有料公務員講座について、3年次生全員が希望した内64%の学生が受講したのであれば、定員を増やすべき。3年次生全員のうち64%の学生が希望しその全員が受講できたのであれば、希望者全員に対応できており評価できる。
- 委員：健康保育学科では、個別相談等においてきめ細かい就学指導が継続できる環境を構築することができており評価できる。
- 委員：看護学科では、学生の希望通りに助産学専攻科や養護教諭別科へ進学できており評価できる。
- 委員：地域福祉学科では主な就職先に対し求人情報提供依頼文書を発送しているが、学生のために、実際に届いているか確認することなどが必要と思われる。
- 委員：大学院講義の開催日程について、現在は金曜日夕方から土曜日の終日だが、日曜日に開催して欲しいという声があるか確認したい。
- 委員：看護師国家試験、保健師国家試験の合格率が100%となっており評価できる。これを継続して欲しい。
- 委員：社会保険労務士や行政書士について、今後合格者が出てくることを望む。
- 委員：基礎ゼミナール科目の充実について、健康保育学科ではアカデミック・スキル修得のための基本的プログラムの作成を年度計画としているがこれできていない。引き続き令和4年度で実施して欲しい。
- 委員：同項目の地域福祉学科について、実績として「一定の成果を確認している。」とあるが、具体的な成果は何か確認したい。また、実績への記載を望む。
- 委員：学生のキーボードスキルが向上しており評価できる。また、ファイル操作や文書作成ソフト等のスキルは社会ですぐに役立つものだ。これに関する授業の効果がでており評価できる。キーボードスキルは大学以前で取得する内容のため、今後はファイル操作や文書作成ソフト等のスキルの向上に力を入れて欲しい。
- 委員：アクティブラーニングの活用について、学生に無償貸与しているWi-Fiルーターがアクティブラーニングに活用可能という事を確認しているだけの実績となっているので、今後は月のステップへの取り組みを進めて欲しい。

## 2) 教育の実施体制

### ⇒評価項目評定を4とする

- 委員：柔軟で実効性の高い教育組織について、中期目標を達成するための人材確保を達成し、柔軟で実効性の高い教育組織を編成できており評価できる。
- 委員：地域との一体性確保について、健康保育学科では実践の結果を保育現場にフィードバックするという年度計画に対し、それが足りていない実績となっている。フィードバックがあるかどうか確認したい。
- 委員：外部人材の登用について、充足できており評価できる。今後も質の高い人材を継続的に確保して欲しい。
- 委員：履修環境の向上について、学修環境や学生支援に関する学生との意見交換会を実施し、

学生参画 FD・SD の一歩を踏み出しており評価できる。今後もより一層励まれない。

## 2 研究

### 1) 研究の内容

⇒評価項目評定を3とする

委員：産学官民連携の推進について、教職員や学生が新見市のまちづくりに積極的に参加し貢献しており評価できる。

### 2) 研究の実施体制

⇒評価項目評定は次回判断する

委員：業務の簡素化につながる対策の実施について、ICTを活用し時間を節約できており評価できる。実績に「教授会における各委員会報告を事前に掲載する」とあるが、どのような内容か確認したい。

委員：特色を生かした研究の推進について、年度計画に「ツールを開発する」とあるため、実績にはどのようなツールが開発できたか記載が必要。これを確認したい。

委員：学術論文の積極的学外投稿・学術集会等への積極的参加について、実習等へ携わる時間を減らし、学会等へ参加して欲しい。

委員：研究活動の評価体制の実施について、評価を数値で表す体制を構築できており評価できる。

委員：何を理由に自己評定を4点としているか分かりづらい。これを確認し、評価委員会としての評定を次回判断する。

## 3 学生の確保及び支援

### 1) 学生の確保

⇒評価項目評定を3とする

委員：前年度、前期試験受験倍率が5.4倍だったものが今年度は2.8倍と大きく下がっていることが気になる。安定した受験倍率となるよう、また将来を見据え、18歳人口の減少への対策を継続して欲しい。

委員：積極的な受入について、定員を超過し積極的に学生を受け入れており評価できる。

委員：キャンパス情報等の発信について、ホームページアクセス数増加はコロナ禍が要因ということもある。コロナ後もアクセス数が維持できるよう努めて欲しい。

委員：都市を嫌う生徒が一定数いると思われるので、この層を捉えることができればいい。

委員：入試情報の発信について、Web相談会は随時行っているのか、もしくは日時を決め予約制なのか確認したい。柔軟な対応がされることを望む。

### 2) 学生生活に対する支援

⇒評価項目評定を4とする

委員：経済的な修学支援について、各種支援を行っているが、コロナ後も引き続き支援できる施策を検討して欲しい。

委員：同項目実績内の「また、新見美術館と～実施するとともに、」、「岡山県が実施した

～200本を送る支援を受け、」の箇所は経済的な支援ではない。この記述は削除する。

委員：学生の居住環境の改善支援の実績について、「新見駅西エリア整備事業～1階に開設する」の箇所は実績ではないため削除する。また、「その他アパートについても学生の増加と想定した情報提供を不動産事業者に積極的に行った。」を「その他アパート経営者に対しても学生の増加を想定した情報提供を積極的に行った。」に改める。

委員：チューター制が機能し学生への細やかな学修支援ができており評価できる。なお、チューター長は毎年変わるのか確認したい。

委員：学術情報の整備について、最新の情報を得るために、毎年度継続して学術書の整備がなされることを望む。

委員：学生生活支援活動について、学生生活における安全性緊急確保体制を整え、健全な学生生活のための支援体制強化が図られており評価できる。

委員：カリキュラムの安定的な実施し、適正に学生支援が行える体制を構築し、実際に深夜対応が実施できており評価できる。

委員：学生による共同事業の支援について、学生を中心とした市民や教職員との共同事業であるNiU新見駅西サテライトの運営事業に対し支援できており評価できる。

委員：学科の特性を生かしたキャリア支援プログラムの充実について、実績に記載の「キャリア形成講座～エントリーシート・履歴書・小論文対策講座」は“b)就職試験対策”の項目に記載すべきではないか。確認したい。

委員：就職実績は評価の対象にならないか。例えば就職試験合格者数などの実績を記載して欲しい。

委員：進路情報提供手段の在り方の検討について、何の専門員が何人いて、どういう体制か確認したい。また、「よりきめ細かい情報提供や相談が行える体制を整えた」に関し、実際に実績は何か、年度計画の「指導する」ができているのか確認したい。

委員：卒業生との連携について、どの学科の何人の卒業生と接し、どのような情報を得たのか確認したい。

## Ⅱ 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置

### ⇒大項目評定を3とする

事務局：サテライトキャンパスの整備の実績内記載の「新見駅周辺まちづくり特別委員会」は「予算決算常任委員会」が正しい。

委員：同項目について、NiU新見駅西サテライトができ電車待ちをする高校生が多く利用している。良い事業が始まり評価できる。

委員：効果的な地域貢献ボランティア活動の調整について、多くのボランティアに参加しており評価できる。また、依頼のあったボランティア件数を確認したい。具体的にどのようなボランティアを行っているか実績に挙げて欲しい。

## Ⅲ 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

### ⇒大項目評定は次回判断する

委員：大学施設の利用促進について、実績に「利用要綱の作成」とあるが、大学ホームページでこれを探しても出てこない。どの様なものか確認したい。

委員：交流センターのPRについて、計画にある「情報発信を行うような組織の構築」ができていない。この組織を構築した後に情報発信を行うべき。また、実績はこの記載内容でいいか確認したい。

委員：SA制度による学生参画機会の創出について、行った活動として「むすびの会」があるが、これより、年度計画にある「健康の森学園との交流活動」ができたとある方がよい。

委員：「健康の森学園との交流活動」がどのようなものか確認したい。

委員：学術交流センターについて、この施設の利用者数の情報が欲しい。施設の利用状況は数字で評価できるものだ。学術交流センターは市民と大学を繋ぐ上で重要な施設。利用状況の資料があれば追記してほしい。

委員：評価項目「1）大学施設の市民開放」については、施設利用の数字を見て判断する。

#### **IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置**

⇒大項目評定を3とする

##### **1 組織運営の改善及び効率化**

⇒評価項目評定を3とする

委員：法人組織の見直しについて、実績に「組織環境の改善を行った」とあるが、具体的に何を改善したか確認したい。

委員：退職手当引当金や積立金はどこに表示したのか確認したい。

##### **2 人事の適正化**

⇒評価項目評定を4とする

委員：専属職員の採用について、地域共生推進センター事務や学生支援事務で専門事務職員の採用を測っており評価できる。

委員：自己評定を4点としている理由がよく分からない。

#### **V 財務内容の改善に関する目標を達成するために取るべき措置**

⇒大項目評定を3とする

委員：授業料等について、授業料収入を100%確保しており評価できる。

##### **1 自己収入の確保及び増減リスクへの対抗**

⇒評価項目評定を3とする

##### **2 外部資金の獲得**

⇒評価項目評定を3とする

##### **3 経費の抑制**

⇒評価項目評定は次回判断する

委員：実績として、特に何をPRしたいのか分かりづらい。評価を上げる箇所、下げる箇所が分かるようにメリハリをつけた記載とすべき。

## VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

### 1 自己点検及び自己評価

⇒評価項目評定を4とする

### 2 情報公開及び情報発信

⇒評価項目評定を3とする

委員：ホームページに動画を多数掲載しており努力されていることが分かる。

委員：ホームページが見つらいと感じる。目的の情報にすぐにたどり着けない。不要な項目が表示されている箇所があるところもある。改善されることを望む。

## VII その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

### 1 施設・設備の整備及び活用

⇒評価項目評定を3とする

事務局：前回、実績に記載のあるような要望書は受け取っていないと発言したが、補足をした。道路整備が議連の要望内容だが、この実績の文面では他の整備も行う内容となっている。実績に記載のあるような4つの計画を行うというような要望書は受け取っていないという意味だった。補足して訂正したい。

委員：①四年制対応の施設整備について、実績として記載のある中で、この項目の実績となるのは「駐輪場増設・安全強化整備計画を行い、四年制対応のための施設整備を計画した。」ということのみだ。また、「大学施設において避難所、防災拠点として機能を高める」という内容を、次の項目の「2 危機管理及び安全管理」の「①災害時対応」に記載するのがふさわしい。

事務局：評価委員会の指示を受けたということで、大学へそのように訂正させる。

委員：バリアフリー及び安全確保について、実績に「また、四年制対応で不足する～設計図書の作成を行った。」とあるが、これはこの箇所の実績になるか確認したい。

### 2 危機管理及び安全管理

⇒評価項目評定を3とする

委員：学生に対する防災・防犯、安全・衛生管理についての啓発ができていないので行うように。

## VIII 予算、収支計画及び資金計画

⇒大項目評定を3とする

## IX 短期借入金の限度額

⇒大項目評定を3とする

## **XII 剰余金の使途**

⇒大項目評定を3とする

委員：実績は教育研究等の質の向上及び組織運営の改善に利用したとする方がふさわしい。

事務局：そのように訂正させる。

## **XIII 新見市地方独立行政法人法施行規則（平成20年新見市規則第16号）で定める事項**

⇒大項目評定を3とする

### **1 施設及び設備に関する計画**

⇒評価項目評定を3とする

委員：安全な施設機能整備について、実績に記載の「防災拠点化として～調査を実施した。

また、」は削除する方がふさわしい。

### **2 中期目標の期間を超える債務負担**

⇒評価項目評定を3とする

### **3 地方独立行政法人法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の使途**

⇒評価項目を3とする

## **その他**

委員：年度計画に係る実績には、実績のみを記載するように。不要な内容があり文章が多すぎるため分かりづらい。次年度から改めるように。